

ほうじゅさん 宝珠山立石寺

※入定窟・警司祠・釈迦堂・胎内堂方面は一般の方は入れません。



五大堂

五大明王を記って天下太平を祈る道場で、山寺随一の展望台でもある。



開山堂

立石寺を開山した円仁のお堂で、木造の尊像が安置されている。今も朝夕、食飯と香が絶やさず備えられ続けている。毎月14日に法要が行われ、ご命日の1月14日には御開帳される。



納経堂

山内で最も古い建物。今も、奥之院(如法堂)で4年かけ写経された法華経が納められている。

四寸道

古来からの修行の道で、一番狭いところは約14センチ(4寸)。円仁の足跡を踏んで先祖も子孫も登ることから、親子道/子孫道ともいわれる。

姥堂

このお堂から下は地獄、上が極楽という浄土口。ひとつひとつ石段を登ることによって煩惱が消えていくといわれる。

立石寺本坊

神楽岩

下山口

瀧不動生そば

高砂屋本館

幸福の鐘

対面石

対面堂

万蔵

えんどう本店

TsukiCoffee

焔藏

交番

山寺小中学校

山寺芭蕉橋

山寺駅

至山形駅(約20分)

至仙台駅(約50分)

山寺芭蕉記念館

山寺郵便局 ATM

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

五大堂

五大明王を記って天下太平を祈る道場で、山寺随一の展望台でもある。

開山堂

立石寺を開山した円仁のお堂で、木造の尊像が安置されている。今も朝夕、食飯と香が絶やさず備えられ続けている。毎月14日に法要が行われ、ご命日の1月14日には御開帳される。

納経堂

山内で最も古い建物。今も、奥之院(如法堂)で4年かけ写経された法華経が納められている。

四寸道

古来からの修行の道で、一番狭いところは約14センチ(4寸)。円仁の足跡を踏んで先祖も子孫も登ることから、親子道/子孫道ともいわれる。

姥堂

このお堂から下は地獄、上が極楽という浄土口。ひとつひとつ石段を登ることによって煩惱が消えていくといわれる。

立石寺本坊

神楽岩

下山口

瀧不動生そば

高砂屋本館

幸福の鐘

対面石

対面堂

万蔵

えんどう本店

TsukiCoffee

焔藏

交番

山寺小中学校

山寺芭蕉橋

山寺駅

至山形駅(約20分)

至仙台駅(約50分)

山寺芭蕉記念館

山寺郵便局 ATM

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

警司祠

入定窟

百丈岩

納経堂

華蔵院

三重小塔

大仏殿

如法堂

奥之院

多聖場

六観堂

釈迦が峰

胎内堂

仁王門

観明院

性相院

金乗院

山頂売店

釈迦堂

弥陀洞

御休石

笠岩

四寸道

姥堂

蛙岩

羅漢像

山門

鐘楼

念仏堂

修行場所

宝物殿

日枝神社

芭蕉句碑

根本中堂

重要文化財

清和天皇の御宝塔

芭蕉句碑

いちよう茶屋

陶芸山寺焼

登山口

信敬坊

ふもとや本店

常力坊

門前cafe

不浄門

えんどう宝珠橋店

いずみや

山門売店

山門売店

開山堂

立石寺を開山した円仁のお堂で、木造の尊像が安置されている。今も朝夕、食飯と香が絶やさず備えられ続けている。毎月14日に法要が行われ、ご命日の1月14日には御開帳される。

納経堂

山内で最も古い建物。今も、奥之院(如法堂)で4年かけ写経された法華経が納められている。

四寸道

古来からの修行の道で、一番狭いところは約14センチ(4寸)。円仁の足跡を踏んで先祖も子孫も登ることから、親子道/子孫道ともいわれる。

姥堂

このお堂から下は地獄、上が極楽という浄土口。ひとつひとつ石段を登ることによって煩惱が消えていくといわれる。

立石寺本坊

神楽岩

下山口

瀧不動生そば

高砂屋本館

幸福の鐘

対面石

対面堂

万蔵

えんどう本店

TsukiCoffee

焔藏

交番

山寺小中学校

山寺芭蕉橋

山寺駅

至山形駅(約20分)

至仙台駅(約50分)

山寺芭蕉記念館

山寺郵便局 ATM

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

警司祠

入定窟

百丈岩

納経堂

華蔵院

三重小塔

大仏殿

如法堂

奥之院

多聖場

六観堂

釈迦が峰

胎内堂

仁王門

観明院

性相院

金乗院

山頂売店

釈迦堂

弥陀洞

御休石

笠岩

四寸道

姥堂

蛙岩

羅漢像

山門

鐘楼

念仏堂

修行場所

宝物殿

日枝神社

芭蕉句碑

根本中堂

重要文化財

清和天皇の御宝塔

芭蕉句碑

いちよう茶屋

陶芸山寺焼

登山口

信敬坊

ふもとや本店

常力坊

門前cafe

不浄門

えんどう宝珠橋店

いずみや

山門売店

山門売店

開山堂

立石寺を開山した円仁のお堂で、木造の尊像が安置されている。今も朝夕、食飯と香が絶やさず備えられ続けている。毎月14日に法要が行われ、ご命日の1月14日には御開帳される。

納経堂

山内で最も古い建物。今も、奥之院(如法堂)で4年かけ写経された法華経が納められている。

四寸道

古来からの修行の道で、一番狭いところは約14センチ(4寸)。円仁の足跡を踏んで先祖も子孫も登ることから、親子道/子孫道ともいわれる。

姥堂

このお堂から下は地獄、上が極楽という浄土口。ひとつひとつ石段を登ることによって煩惱が消えていくといわれる。

立石寺本坊

神楽岩

下山口

瀧不動生そば

高砂屋本館

幸福の鐘

対面石

対面堂

万蔵

えんどう本店

TsukiCoffee

焔藏

交番

山寺小中学校

山寺芭蕉橋

山寺駅

至山形駅(約20分)

至仙台駅(約50分)

山寺芭蕉記念館

山寺郵便局 ATM

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

山寺芭蕉記念館

警司祠

入定窟

百丈岩

納経堂

華蔵院

三重小塔

大仏殿

如法堂

奥之院

多聖場

六観堂

釈迦が峰

胎内堂

仁王門

観明院

性相院

金乗院

山頂売店

釈迦堂

弥陀洞

御休石

笠岩

四寸道

姥堂

蛙岩

羅漢像

山門

鐘楼

念仏堂

修行場所

宝物殿

日枝神社

芭蕉句碑

根本中堂

重要文化財

清和天皇の御宝塔

芭蕉句碑

いちよう茶屋

陶芸山寺焼

登山口

信敬坊

ふもとや本店

常力坊

門前cafe

不浄門

えんどう宝珠橋店

いずみや

山門売店

山門売店

開山堂

立石寺を開山した円仁のお堂で、木造の尊像が安置されている。今も朝夕、食飯と香が絶やさず備えられ続けている。毎月14日に法要が行われ、ご命日の1月14日には御開帳される。

納経堂

（日本語ガイド）要予約
きざはし会

山寺の名所旧跡をあますことなくご案内。地元ガイドならではの秘話も交え、楽しいひとときをお楽しみいただけます。



予約・お問い合わせ

Tel.023-695-2816 山寺観光協会



（外国語ガイド）要予約
Yamaderans

山寺の本堂「根本中堂」の不滅の法灯を拝観し、奥之院まで英語でご案内。歴史や自然、地域の人々にまつわるエピソードもお楽しみいただけます。



予約方法
WEBサイトより
ご予約ください



年間行事

一般参加等可の行事

開催日時	行事名	問合せ先
1月 1日 0:30	初護摩供祈禱法要	立石寺事務所
1月 14日 11:00	慈覚大師後遺念法要	〃
1月 17日 13:00	大般若祈禱法要	〃
2月 3日 14:00	節分法要	〃
2月 初旬 9:00	こけし雪だるまコンテスト	山寺観光協会
2月 下旬 13:00	羅のみち・風流茶会	〃
4月 14日 8:15	円仁祭	〃
5月 17日 終日	山王日枝神社大祭	〃
6月 13日 11:00	四寺回廊・四寺法要	立石寺事務所
7月 上旬 10:00	全国俳句大会	山寺芭蕉記念館
7月 13日 14:00	気分は芭蕉	〃
7月 下旬 18:00	宝珠山ライトアップ(8月下旬まで)	〃
7月 下旬 14:00	子ども芸能フェスティバル	〃
8月 6日 18:00	夜行念仏講	〃
8月 初旬 9:00	磐司祭り	〃
8月 下旬 18:00	かがり火芋煮会	〃
9月 彼岸中日 11:00	奥之院施餓鬼会	立石寺事務所
9月 下旬 10:00	山寺音楽祭(面白山)	山寺観光協会
9月 下旬 9:00	記念殿一般公開	〃
10月 中旬 9:00	歩行者天国・マルシェ	〃
10月 下旬 17:00	宝珠山ライトアップ(11月上旬まで)	〃
11月 28日 6:00	法華経写経奉納法要(うる年のみ)	立石寺事務所
12月 上旬 10:00	学業成就祈願法要	山寺観光協会
12月 30日 10:00	鐘楼すず払い・お供え餅つき会	〃
12月 31日 23:30	大晦日除夜の鐘	〃



お問い合わせ
山寺観光協会
TEL.023-695-2816
FAX.023-695-2810
〒999-3301 山形市山寺4495-15



M
A
P

まるごと

山
寺
やま であら

ようこそ、山寺へ。

山寺(立石寺)は、すべての方々が平安で栄え、健康で安心して暮らせるようにと祈るお寺です。祈りの世界、四季折々の多彩な景勝、俳聖・松尾芭蕉の「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」の風情、名勝・史跡の数々をぜひ堪能して下さい。

宝珠山 立石寺貫主
清原 正田

山寺
とは？



- 正しくは宝珠山立石寺、通称『山寺』と呼ばれ、天台宗に属します。創建は貞観二年(860年)、天台座主第三世・慈覚大師円仁によるものです。
- 円仁は、この地を訪れた際に砂金千両と麻布三千反で周囲十里四方を買い上げ、堂塔三百余りを建立して布教に努めました。開山時、本山延暦寺から最澄の「不滅の法灯」を分けられ、香を絶やさず四年ごとの写経行を護る寺院となりました。
- 鎌倉時代には繁栄しましたが、室町時代に戦火で衰退。その後、江戸時代に千四百二十石の朱印地を受け、堂塔が再建されました。元禄二年(1689)には俳聖松尾芭蕉が訪れ、「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」という句を詠んでいます。
- 現在約百町歩(三十三万坪)の境内に大小三十余りの堂塔があり、法灯・常香・写経行の「三つの不滅」が今も護られています。
- 山内のいたるところに、「後生車」と呼ばれる木製の塔婆が立てかけられています。後生車には、亡くなった人の戒名が刻まれており、回転する祈りのための車が付いています。これを回すと経をあげることになります。国籍・宗派を問わず供養する人たちを受け入れています。

奥之院供養料



お参りの作法

お寺の参拝作法

お寺では、合掌とともに一礼をします。合掌とは、胸の前で手を合わせる作法のことです。宗派によって形式に違いはありますが、お寺で礼拝する際の基本であり、仏様と一体になることを表しています。



1. 山内各寺院・お堂にお参りするときは、脱帽し合掌、一礼して入ります。



2. 参拝時は、お賽銭を静かに入れて合掌し、お参りします。※根本中堂・奥の院は参拝前に、ろうそく・線香をたてます。

※堂内では、写真撮影及びペットを連れたる参拝はご遠慮ください。

神社の参拝作法

深いお辞儀を「拝」、手を打ち鳴らす動作を「拍手」と呼び、どちらも日本古来の敬礼作法です。御神前では「感謝の心」を込めてお参りしましょう。



1. 鳥居の前で一礼し、端を歩き進みます。



2. 神前に着いたら、お賽銭を静かに入れ、二礼二拍手一拝をしましょう。

御朱印について

山内各寺院・お堂で参拝後、御朱印帳を開いてお渡しください。御朱印ができるまで静かにお待ちください。

- ※写真撮影はご遠慮ください。
- ※御朱印は御朱印帳のみでお受けできます。(ノートやスケッチブック等は不可)
- ※奥之院如法堂では、紙の御朱印をお渡ししておりません。
- ※御朱印帳にスタンプ等がある場合、御朱印をお受けできません。
- ※御朱印帳のカバーは外してお渡しください。
- ※小銭をご用意ください。



院内・お堂では脱帽します。